

正 解

	防 災 用 品	正 解 順 位	(参考) 仙台市五輪町内会 順 位
1	ラップフィルム	6	10
2	乾電池	7	2
3	マスク	10	8
4	ウェットティッシュ	5	3
5	アルコールジェル	9	12
6	ビニール袋	3	4
7	ガスコンロ（カセットボンベ付）	8	1
8	トイレットペーパー	2	6
9	簡易トイレ	4	11
10	缶詰	11	5
11	タオル	1	7
12	カップ麺	12	9

※正解順位は、防災ゲーム研究会で決定した順位です。

■ 解説

災害時に備えて何を用意しておくべきか、たとえば非常持ち出し袋に入れておくものや、備蓄品について、何をどの程度そろえておくか、迷われる方も少なくないと思います。本やテレビ、インターネットにも情報はあふれていますが、日ごろどのような生活をしているのか、また、どんな地域に住んでいるかによって、必要なものは違います。

このゲームは、自分の生活や地域で起こりそうな災害のことを考えて、防災用品をそろえていただくために作成しました。順位はみなさん同じではなかったと思います。それはつまり、人によって大事なもの、必要なものが違うということです。

また、このゲームの中に出てくるものは、主に次の2つの視点から選びました。

- ① 災害時に欠かせないもの。たとえば、衛生上必要なものや、支援物資が届くまでにあると役に立つものなどです。
- ② 日頃から使っているようなもので、災害の時にも役に立つもの。特に、いろいろな使い方ができるものを中心に選んであります。

みなさんがふだん使っているようなものが、災害時には別の使い方ができて、またそれが非常に役に立つことが少なくありません。ゲームの話し合いの中でも、人の話

を聞いて「そんな使い方があるのか」と気づかれた方も多いでしょう。そういう使い方はぜひ覚えておいてください。その知識がきっと災害時に役に立つと思います。

このゲームの防災用品のリストにはないけれど、自分にとって必要なものはありますか？それは何かについても、ぜひ考えてみてください。そうすれば、「自分防災用品リスト」ができるはずです。みんなで考え、みんなで災害を乗り越えていきましょう！

1. ラップ（ラップフィルム）

過去に起きた災害では、災害時に役だった物としてよく上位に挙げられています。食器にラップフィルムをかぶせて使用すると、食器が汚れず洗う水を節約することができます。また、包帯の代わりにもなります。

2. 乾電池

懐中電灯やラジオなど、乾電池を使う製品はたくさんあります。長時間使用していると電池は消耗するので、予備の乾電池の備えも必要です。乾電池の大きさも確認しておきましょう。

3. マスク

被災地は、家屋の倒壊などによって粉じんが舞っています。また、多くの人が集まる避難所などでは、インフルエンザなどの感染症を予防するためにもマスクを着用するといいでしょう。

4. ウェットティッシュ

断水していると、手を洗う水もなく、お風呂にも入れなくなります。そこで、ウェットティッシュがあると、手を拭いたり、体を拭いたりすることができます。

5. アルコールジェル

除菌はお湯とせっけんの手洗いが一番効果あります。しかし災害時はライフラインが止まり、水の使用は制限されます。そんな時、ある程度汚れを払い落としてから、アルコールジェルを使用して除菌したいものです。女子高生にも人気です。

6. ビニール袋

ビニール袋は、物を入れるほかにもいろいろな使い方があります。たとえば、水を入れて運んだり、三角巾や感染防止用手袋の代わりにもなります。防寒用としても使えます。

7. ガスコンロ（カセットボンベ付）

電気やガスが止まったときは、ガスコンロがあれば煮炊きができます。

8. トイレトペーパー

本来の目的である活用方法のほかに、拭く・包むなど、災害時は包帯・生理用品などの代わりにもなり汎用性が高いものです。しかし、備蓄に場所を取るので、保管方法には工夫が必要です。ラッピングしてつるす、エコバックに入れつるすなど「つるして保管」する方法もあります。

9. 簡易トイレ

断水すると、水洗トイレは流すことができなくなりトイレが使用できません。また、上水道が復旧しても下水道が復旧しないと、水を流すことができません。仮設トイレが設置されると思っている人が多いのですが、仮設トイレの前はいつも長蛇の列。何はさておき、一人ひとりが自分用の簡易トイレを準備しておきましょう。

10. 缶詰

昔から備蓄の定番と言えば缶詰です。さまざまな種類の缶詰が販売されていますので、自分の好きな缶詰をストックして、賞味期限切れにならないよう日ごろから消費して、また補充しておきましょう。

11. タオル

身体を拭いたり、マスク代わりにしたり、使い道の広いタオルは万能グッズです。特に、子どもさんのいる家庭では、ちょっと多めに備えておくといいでしょう。

12. カップ麺

非常食として、簡単に食べられる汁物は重宝です。缶詰同様、普段から時々食べて、新しいものを補充しておくといいいでしょう。いろいろな味のものがあると飽きなくていいですね。

■□■□ 東日本大震災で被害を受けた町内会の順位は？ □■□■

仙台市宮城野区の五輪町内会では、東日本大震災で電気が停電するなどライフラインの被害によって生活に大きな支障がでました。そんな経験をされた65歳以上の男女31人に順位づけをしてもらいました。その結果は、正解の横に書いてある五輪町内会の順位です。

上位5位に入った防災用品の選ばれた理由を、わしん倶楽部の田中勢子さんにお聞きしました。

1位 ガスコンロ（カセットボンベ付）

地震が起きた日は雪が舞い、寒い日々が続きました。暖かいものの煮炊き、お湯を沸かして体を拭く、暖を取るなどに活用できたのでガスコンロがトップになったと思います。

2位 乾電池

ライフラインの中で復旧が一番早かった電気ですが、夜間の作業でのヘッドライトやラジオでの情報収集など、乾電池を必要とする製品が多く予備の電池を含めて備えの必要性を実感しました。

3位 ウェットティッシュ

断水や水の給水制限により、手や身体など洗うことが思うようにできないときに、ウェットティッシュで拭くことで、爽快感を味わえました。

4位 ビニール袋

水が貴重なため、避難所や家庭のトイレなどに備えつけ、トイレットペーパーを流さないように工夫しました。また、給水車から水を運ぶときや被災直後の後片付けでは、段ボールとビニール袋のセットが大活躍！その他にも、上着と下着の間にビニール袋を入れると保温効果で寒さをしのぐこともできました。

5位 缶詰

震災後は食料を買い求めて店先には長蛇の列！火も水もなく調理できないときに重宝されたのが缶詰でした。

【五輪町内会】

宮城県仙台市の北東部に位置し、宮城野区内にある町内会です。近隣には「東北楽天ゴールデンイーグルス」の本拠地があり、桜の名所「榴ヶ岡公園」もある地域です。